

上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係る  
アンケート調査報告書（別冊）

教員アンケート  
（その他及び自由記述意見）

令和5年1月

上尾市教育委員会

## 目次

問2-1	学校で児童生徒に身に付けさせたいことについて、特に大事であると思うことはどれですか。.....	2
問2-2	勤務する学校において、特に大事であると思うことはどれですか。.....	2
問2-3	学校施設について、特に大事であると思うことはどれですか.....	3
問2-4	学校の教室に関連することで、特に必要と思うことはどれですか.....	3
問3-3	「問3-2」(小学校の1学年あたりの適切な学級数)で回答した理由に近いものは、どれですか。..	4
問3-6	「問3-5」(中学校の1学年あたりの適切な学級数)で回答した理由に近いものは、どれですか.....	4
問4-1	小学生の片道の通学距離で、徒歩で通える上限はどの程度が適切であると思いますか.....	5
問4-2	中学生の片道の通学距離で、徒歩で通える上限はどの程度が適切であると思いますか.....	5
問5-2	「問5-1」において、そのように回答した理由について、お考えに近いものを教えてください。(小中 一貫教育の取り組み).....	6
問5-3	本市において、小中一貫教育をどのように実施したら良いか、お考えに近いものを選択してください。 .....	7
問6-1	放課後や学校が休みの日に、学校をどのように使えると便利であると思いますか.....	8
問6-2	本市では、市内小中学校に「コミュニティ・スクール」を設置し、地域の人々が学校と協働・連携して子 供の成長を支え、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。今後、この取組の更なる充実を図るため に、学校が他の公共施設と一緒になる場合(施設の複合化)、どのような公共施設との相性が良いと思いますか。 .....	9
問7-3	学校再編を検討する場合には、どのような点に配慮すべきだと思いますか.....	10
問8	学校再編を検討する場合には、どのような点に配慮すべきだと思いますか.....	11

問2-1 学校で児童生徒に身に付けさせたいことについて、特に大事であると思うことはどれですか。

- 生きる力
- 社会で生きるための自立した生活習慣
- 失敗や間違いをやり直そうとする挑戦する姿勢
- 困難を克服する力
- 自分の可能性に気付くこと
- 教科書外の知識や経験、体験
- 語彙力・言語化する力
- 学力

問2-2 勤務する学校において、特に大事であると思うことはどれですか。

(教員のこと)

- 自己研鑽するための時間の確保
- 働き方
- 業務の厳選を図り、一人一人の業務の負担が少ない
- 服務が厳正である。
- 教職員が働きやすい環境である。
- 職員室の雰囲気
- 職員同士の関係が良い。勤務時間削減のため具体的な業務削減を行っている。
- 加配や副担任などの教員の増員、業務負担の軽減
- 分校教職員と福祉職員、そして校長先生との緊密な連携
- 教員の規模が適正である
- 勤務時間内に職務が完了すること
- 社会情勢や生徒の実情に応じて、柔軟に学校運営が図られている

(地域や保護者のこと)

- 地域を理解すること
- 児童と教員、保護者の信頼関係が築けている
- 保護者の理解が得られている

(児童生徒のこと)

- 生徒たちが落ち着いて生活できている。
- 児童・生徒が安心して通うことができる。生活できる。
- ひとクラス定員が25人前後、指導等が行き届く人数
- 1クラスの人数が少ない

## 問2-3 学校施設について、特に大事であると思うことはどれですか

- 新しい時代にあっていない
- 特別教室にエアコンが設置されていない。
- ICT機器の充実
- 少人数学級・指導のための教室の数が十分にあること
- 古いものを廃棄し刷新できる予算

## 問2-4 学校の教室に関連することで、特に必要と思うことはどれですか

### (空調)

- 冷暖房の効く教室
- 特別教室におけるクーラーの設置。ガスバーナー等を使用しつつクーラーの無い理科室で実験等を行っていると熱中症の危険が高く、生徒の安全が確保されていません。
- 特別教室のエアコン
- 特別教室も含め教室の適正温度を保つための空調（夏・冬）
- 空調設備がある
- 冷暖房設備の充実
- メンテナンスの行き届いた空調
- 空調

### (備品等)

- ロッカー等が施錠できると良い
- 学習用具を保管できる場所の確保
- 空調やインターネット環境などが整っていること
- がたつきのない机、いす
- 作品を保管・展示できるスペース

### (その他)

- 児童生徒、そして教職員がクールダウンできるスペース。
- 十分な教室確保が必要
- 安全性
- 明るい教室（日照）
- 学級の児童数が少ないこと

問3-3 「問3-2」(小学校の1学年あたりの適切な学級数)で回答した理由に近いものは、どれですか。

(3クラス)

- 多すぎず、少なすぎず。

(4クラス)

- テストの丸付けなどは、40人学級と20人学級で考えたら、仕事量が全然違う。

(5クラス)

- 1クラスの定員は20人以下にすべきと考えるから。

問3-6 「問3-5」(中学校の1学年あたりの適切な学級数)で回答した理由に近いものは、どれですか

(3クラス)

- 職員の業務が減る
- 学級数が増えるとどんなことでも、作業が増える

(4クラス)

- 1学年あたりの教員の授業時数がちょうど良い
- 授業時数上の学年を1人で担当できる。
- 教科の授業を1人が担当でき、なおかつ教員に余裕が持てる
- 学年の教科の授業を全クラス同じ教員が担当できる。
- 受け持つ授業数がこれ以上だと厳しい
- 教員の配当人員に余裕がある。

(5クラス)

- 1クラスの人数は30人程度が最適であると考えます。

問4－1 小学生の片道の通学距離で、徒歩で通える上限はどの程度が適切であると思いますか

- スクールバスを使えば3km以上も運用ができる。

問4－2 中学生の片道の通学距離で、徒歩で通える上限はどの程度が適切であると思いますか

- スクールバスを使えば4km以上も運用ができる。

問5-2 「問5-1」において、そのように回答した理由について、お考えに近いものを教えてください。(小中一貫教育の取り組み)

(「1. 必要である」と回答)

- 9年間で子供たちの資質・能力を育成するという意識を教員全体で共有するため。
- 小学校入学時に、全児童へWISC-4等の検査を実施する。その検査によって判明した特性を伸ばし、苦手を補う手段を授けるためには義務教育9年間の継続した指導・支援の期間が必要であると考えため。
- 現在起きている、小・中学校の連携の問題点を解決するため

(「2. どちらかといえば、必要であると思う」と回答)

- 系統立てた学習指導が行われるため。
- 個別支援の方策が小・中学校で共有しやすい
- 児童の多様な変化に柔軟に対応することが難しいため
- 人口減少に対応するため
- 中学校に入って小学校での教育を無駄にしないため

(「3. どちらかといえば、必要ではない」と回答)

- 価値観が違いすぎる
- 各小学校の独自性が制限されてしまう。
- 子どもの成長段階を考えて、教員としてのかかわり方が違うから。
- 特に必要性を感じないから

(「4. 必要ではないと思う」と回答)

- あまり効果を感じたことがないから
- 現在の学校教育のあり方がよい
- 小学校と中学校は大きく違います。授業時間が違う 水道やトイレ施設の大きさも違う 体育や実験器具などの器具も違う 発達段階にあった指導ができるのか かなり不安があります。また小学校での生徒指導と 中学校での生徒指導にも大きな違いがあります。本当に必要か 教職員みんなで話し合う必要があると思います。
- 小中の取り組みがうまくいっていないから
- 新たに小中一貫校を作るのではなく、小規模の小学校を増やす方が教育が充実する。
- 成長に応じた段階的なハードルは必要だから
- 問題行動が起こる小中一貫校になるといじめ問題なども深刻化するため
- メリットが感じられないため。

(「5. 分からない」と回答)

- それぞれのメリット・デメリットをよく知らないため。
- 経験がないから。

問5-3 本市において、小中一貫教育をどのように実施したら良いか、お考えに近いものを選択してください。

(モデル事業として実施)

- モデル事業として一部の小中学校で実施する。その際、配置される教員は、学校の目的や目標を確実に理解し、自らの任務を承知した上で配置されるようにする。
- モデル事業として一部の小中学校で実施し、その後に再度分析結果等を周知した上で再度調査を実施してほしい。モデル校ができたからといって、段階的に実施校の拡大が望ましいかどうかはわからないため。
- 実施する学校を校設定し、今後拡大しない。

(必要に応じて)

- 必要な学区が必要な連携をすればよい
- 実施校を拡大する必要があるとは思わない
- 地域によって人数の少ない学校などは小中一貫でもよいと考える。

(できる部分からやる)

- 移動時間や安全確保などが課題である。オンラインなど工夫できるところから進められればよい。
- それも大事な取り組みであるが、教員に時間的余裕があるなら実施してもよいが、形だけになるなら、やなくてよい。
- 連携すべきところとそうでないところをはっきりとさせる。

(その他)

- 実施の必要はない。(教員定数が増えない状況での取組は、働き方改革に逆行する。)
- 小中の意思疎通を図るのが先
- 様々なシステムが変わらないと無理
- 市内の状況を詳しく知らないので答えられない
- 「小中連携」が十分かどうかがよくわからない。
- 分かりません



## 問6-1 放課後や学校が休みの日に、学校をどのように使えると便利であると思いますか

### (児童生徒が優先)

- 自校の生徒の活動を優先して、配慮すべき
- 授業最優先のため、使用しないでほしい。
- 部活動との兼ね合いをしっかりと検討するべきと考えます。外部に移行したとしても、実施する場所は学校が提供することになるのでしょうか。

### (使用しない)

- 使用しない
- 特に使う必要はないと思う。
- 防犯上、校内に人を入れるべきではない。
- 使っていただきたくない。(防犯面上)
- 活用させない

### (教員の負担による)

- 教職員の負担が増えるため必要ない
- 学校管理外のこととして捉えられるなら、どのような形でも構わない
- 休日も職員が平日の業務を行っている状態で学校を開放することはその職員の対応がふえる原因となるため、上記いずれも他の施設で行えばよいと考えます。
- 教員の負担になるならしなくてよい
- 誰がどのように管理するかによります
- 特にありません。解放することで、職員の業務が、増えると思います。
- 「誰がどのように活用するか」と「誰がどのように管理するか」をセットで質問してください。
- 使用する場所によります。

### (役所の手続き)

- 役所の手続きが行える場所。

問6-2本市では、市内小中学校に「コミュニティ・スクール」を設置し、地域の人々が学校と協働・連携して子供の成長を支え、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。今後、この取組の更なる充実を図るために、学校が他の公共施設と一緒にする場合（施設の複合化）、どのような公共施設との相性が良いと思いますか。

（教員の負担による）

- 教員の負担になるならしなくてよい
- 問6-1の」その他の回答と同じです。教員の負担増（特に管理職）になるということを行政は忘れてはいけません。
- 前述のとおりです。

（複合化は不要）

- 無理に一緒にしなくても良い。
- 場所の提供として、学校を開放しない。

（安全管理に懸念）

- 今の状況で心配なのに、複合施設になって誰でも入れるようになったとき安全管理が心配です。

（施設）

- 保育所
- 隣にスイミングスクールがあるとよい。
- 幼保園

（なし）

- なし
- 特になし

### 問7-3 学校再編を検討する場合には、どのような点に配慮すべきと思いますか

#### (地域への配慮)

- 学校再編に関わる協議の透明性。パブリックコメントの十分な募集。児童生徒の声を確実に把握する。
- 地域住民の意見を聞きながら、長い時間を掛けて検討すること
- 学校再編は本当に必要なのか、地域住民が望んでいるのかをしっかりと検討する必要がある。

#### (教員)

- 教職員にとって児童性を学ばせやすい環境
- 再雇用教員の選定と授業がメインで持てない教員の働き方改善
- 教員への負担軽減

#### (1学級あたりの人数)

- 1クラスの人数の配慮
- 少人数(30人以下学級)が実現できる教室数を確保する。

#### (その他)

- 学校再編をすべきではない
- 空き施設となった学校は、積極的に民間に活用してもらうことが大切。
- 小規模校の良さを実感している。それぞれの学校が1~2クラスになるように再編するべき。統廃合はすべきではない。学校が無くなると地域の拠点もなくなる。

問8 「子供たちのための新しい学校づくり」について、ご自由に意見をお願いします。

大項目	中項目	小項目	自由記述
学校施設	バリアフリー		<p>とても魅力的な内容ですが、とても難しい内容だなと感じました。細かな問題点をクリアしてから実施となるととても時間のかかる印象です。その細かな点がきちんと抽出され、議論を尽くしてから実施になるのが教員としてはとても不安です。さいたま市にモデルケースがあるので複合施設型の学校を知っていますが、綺麗になってお金がかかったんだなと思いました。さいたま市だからできたのかなとも思いました。人の出入りが多くなることによる防犯面や複合施設側の管理を誰が行うかも気になることです。また、教室と廊下の境目が無い学校も知っていますが、開放的ですが、授業の音が重なってしまったりやりにくそうイメージを持ちました。正直その前に今の学校の設備を把握して見直していただきたいです。本校は理科室、技術室、調理室、大会議室にエアコンがありません。また、全然バリアフリーではなく、段差も多いです。端末に関しては、一人一台の端末もなかったと思います。(そして教員も含め同じ機種にしてほしい)設備ではありませんが、市内全体でFAXの活用が多く、導入しているC4thをもっと機能を拡大してそちらを使えばいいのにとものすごく感じています。といったように今の学校をもっと改善できる点にも目を向けていただけたらと感じたのが素直な印象でした。新しい学校や小中一貫校が市内に出来るのは良いことだと思いますし、子ども達が学校で出来ること学びが深まるようになってほしいとはとても感じています。”</p>
学校施設	空調		
学校施設	教室		
教育環境	教育・学び		
教育環境	子どものICT環境		
教育環境	小中一貫教育		
教員	その他	仕事の効率化	
その他	検討の進め方		
地域との関係	施設の複合化		
学校施設	新しい学校		<p>私が、統廃合を見直すことについて「どちらかと言えば必要」と回答したのは、教員一人の負担が複数学級担任と比較すると大きいこと、少人数の職員で施設設備(特に自然の管理)は大変厳しいことが理由です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校によって、設備、教育内容等で格差が出ないようにすること。(市内公教育の平等を市民レベルで感じられるように、正しその地区の特色は維持する)。</li> <li>・統廃合した場合には、「新しい学校」としてスタートし、全児童・職員が公平な立場でスタートできるようにすること。(学校経営方針・運営・学校運営協議会等リニューアルする)。</li> <li>・新しい時代の教育に対応できる設備を設ける等、統廃合が魅力的なものであるような工夫をすること。</li> </ul> <p>例1:現在児童が使っている机は旧規格なので、机の面積を広げるための装置をつけることができません。新規格のサイズに変更する必要も出てくると思います。</p> <p>例2:デザイン・アート・自然を取り込む事で、児童生徒・職員の心を豊かにする効果がある。</p> <p>例3:RGBTQの児童生徒職員保護者等へ対応できる、トイレや更衣室の完備。</p> <p>例4:SDGsの実現に近づける(例:自然環境に配慮した、発電一校内で使用等)。</p> <p>例5:災害発生時に避難所としてすぐに起動できる施設の工夫。等、例はまだまだ思いつきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の安全確保。</li> <li>・特別支援学級児童への配慮をすること。(例:準備期間を設けて、交流学习の時間を多くとること、教室や環境に十分慣らす機会を設けること)。</li> <li>・登校渋りや不登校の児童への配慮。各小学校にSC又はさわやか相談員の常時配置。</li> <li>・学級数の適正化だけで考えず、一クラスの人数を30人学級にしていくことで、一人一人に目が行き届き、丁寧な生徒指導ができる。感染防止対策にも有効(コロナだけでなく、インフルエンザ等にも、教室内の人数が少ない方が感染率も低くなり、学級閉鎖等も少なくなる。)また、教員への負担も減る。上尾市として独自の取組をすることで、統廃合の利点が高まると考える。(大きな予算確保等が必要であるが、ダイナミックな挑戦も必要な時であると感じます。)</li> <li>・教職員室の整備(効率よく仕事ができるように)</li> <li>・動線を考える、必要な機器を配置、コミュニケーションスペースの確保、作業スペースの確保)</li> </ul> <p>→教職員のゆとり→児童生徒の指導の充実を図る時間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の健康維持増進→質の高い教育。</li> </ul> <p>多くの考えを書かせていただきました。</p> <p>このように現場の声を聞いてくださる機会を作ってくださいありがとうございます。上尾市の学校がこれからも発展し、心豊かな素晴らしい子供達が育ち、上尾市や埼玉県、日本、世界を支える人に成長して欲しいと心から願っています。上尾市で育ち、市内小・中学校を卒業し、新任より上尾市の教員となり、上尾の教育の発展に懸命に取り組んできた私です。未来を思い、多くの考えを書かせていただきました。ありがとうございました。</p>
教育環境	地域差のない教育		
教育環境	統廃合		
教育環境	学級人数	少人数	
教育環境	その他	特別支援教育	
教員	負担		
教員	教員数		
その他	スクールカウンセラー		
学校施設	新しい学校		
学校施設	給食		
教育環境	子どものICT環境	このままでいいのか	
その他	費用関係		
学校施設	その他	廃校となる学校の有効活用	
教育環境	学校再編		
地域との関係	避難所		
通学	距離・時間		
学校施設	その他	地域差のない環境	
学校施設	空調		
教育環境	学校規模	人数	
教育環境	学級人数	少人数	
教育環境	統廃合		
教員	教員数		

大項目	中項目	小項目	自由記述
教育環境	学校規模	クラス	
教育環境	小中一貫教育		出来るだけ単学級を減らす。小学校高学年の教科担任制→小中学校一貫教育 小中学校の教員の相互交換等
教員	その他	交流	
教育環境	教育・学び	個別指導	
その他	スクールカウンセラー		学習修学度別個別指導の充実。小学校での相談室登校の導入。スクールカウンセラーの来校頻度を高める。
教育環境	生徒の個性に合わせた教育		働き方改革が少しずつ行われているが、子供の活躍の場が失われてはいけないと思う。さらに教員の研修など自己研鑽に励むことができる場も減らしてはならない。教員不足が問題となる今、「先生」という仕事の魅力が世間に伝わらないといけない。何を減らして何を増やしていかなければいけないのか、子供を中心に再考すべきだと考える。
教員	研修		
その他	検討の進め方		
その他	検討の進め方		地域との密接な繋がりが乏しくなる。”子供たちの通学(時間・距離・方法)と安全確保;保護者・地域住民・学校関係者等との十分な協議と丁寧な説明。
地域との関係	つながり		
通学	距離・時間		
通学	距離・時間		
通学	安全確保		通学路、時間等の児童の安全を第一に、教員の負担軽減できるようにするべきだと思う。
教員	負担		
通学	距離・時間		大規模校では、教職員の仕事分担が大幅に広くなり、業務量軽減により、経験年数が少ない方の働き方がよい。”子供たちの通学(時間・距離・方法)と安全確保。小学校の教職員の増員、教務、専科の配置をお願いします。
通学	安全確保		
教員	負担		
教育環境	学校規模	適正化	
通学	距離・時間		通学時間や交通安全を考慮し、適正な学校規模を維持する
通学	安全確保		
地域との関係	その他	学校像	保護者、地域、学校が一体となるような学校づくりをしていきたいです。もちろん、大切なのは我が子ですが、「地域の子」として、その学校の児童生徒を、上尾市の子どもたち全体を、協力して育てていくという意識があると、「子どもたちにとって」よりよい新しい学校になっていくと思います。誰でもあろうと「ならぬことはならぬ。よいことはよい。」と伝えられる上尾市になると、子どもたちのよりよい成長に繋がっていくと思います。教員の働き方改革との両立が難しい点でもあると思いますが…
教員	その他	働き方	
その他	費用関係		統合した場合の校舎を既存のものが使えず、新校舎を設立する場合の予算等の不安がある。また、教員の仕事内容を見直し、担任は授業や生徒指導に集中できるように、校内の環境整備など、担任(教員)ではなくてもできる仕事はスクールサポーターをもっと取り入れる等の取組をお願いしたい。
教員	負担		
通学	その他		通学の不安が残りますが、学校ごとの人数を平均化していくことは、児童にとっても教員にとっても有効だと思います。
教育環境	学校規模	人数	
地域との関係	その他		地域の反対の声があるのは理解しています。通う子供と働く先生が過ごしやすい、よい学びの環境になることを願います。”
教育環境	教育・学び		
地域との関係			
教育環境	生徒の個性に合わせた教育	多様性	地域の特色を生かした学校づくり。多様性を配りよした学校。
その他	検討の進め方		大きな変化をするとなると、最初はとても教員の負担もかかると思うが、必要なことだと思う。
教員	負担		
教育環境	統廃合		
教育環境	その他	偏りなく	人数の偏りが無い学校が望ましいと思います。学校の統廃合も必要だと思います。
その他	検討の進め方		人数による適正配置は大切なことと思いますが、保護者の方や地域の方が十分納得できるものであってほしいと思います。
教育環境	学校規模	適正化	
児童生徒	交友関係		人数が多すぎる→見切れない”。子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減。
教員	教員数		
その他	検討の進め方		新しいもの(例えば一人1台のICT端末)を取り入れることも大事だが、今まで行ってきたことも大切にしていきたい。
教育環境	子どものICT環境		
通学	校区		小中学校の建て替え・複合化等の視点で進んでいますが、可能であれば、学区の見直しや段階的に小中一貫校・義務教育学校への移行なども行ってよいのかと思います。
教育環境	小中一貫教育		
教員	負担		小中一貫もありだと思うが、もっと小中連携をすべきと思う。まずは小中連携ではないかと思う。また、連携するような時間的・精神的な余裕が小中学校教員に無いようにも思う。
教育環境	小中一貫教育		
教員	教員数		自分が必要だと思うことは以下の2点です。①教員増加。②1人1台端末(私物化)。①教員増加について。教員が不足し、特定の教員に業務が集中している。授業時数も増え、勤務時間後の勤務が長くなっている現状である。そうすると、授業をすること自体の負担や、授業以外の様々な教育活動の実践が困難となり、それらが直接子供たちの不利益になる恐れが非常に大きい。働き方改革などの取り組みはあるが、根本であるマンパワーを増やさないことには、何も改善しない。子供たちがより良い教育を受けられるためにも、現状をなんとかしていただきたい。②1人1台端末(私物化)について。現在、本校ではクロームブックを用いた教育活動に取り組んでいる。しかし、1人1台ではなく、何人かの生徒は、1台を分け合って使うという、疑念的な1人1台となっている。生徒1人1人に端末を配布し、教科書のような自身の持ち物として責任を与え、管理させることが、必要だと思う。具体的には、・端末の中にデジタル教科書を導入し、生徒の荷物を減らす。・授業や家庭学習などで気軽に使用できるようになる。・ルールやリテラシーを学校が指導することで、ネットモラルの向上につながる。・様々な事情で学校に来られない生徒も、リモートで授業を視聴できる。もちろん私物化させることに多くの課題があることは理解しているが、多様な教育に対応するため、そして、生徒、家庭、教員の負担軽減のためにも、一刻も早い実現が必要だと思う。以上2点について、自分の意見です。”
教育環境	子どものICT環境		
その他	子ども第一		児童・教員にとって最適な学校づくりが行われていってほしい。
教員	負担		
教員	負担		子供主体で考えることは当然であるが、働く者の働きやすさも考えていただきたい。4階でも空調設備がない状況では室温が35度を超える。こういった天も考えていただかないと子供たちのための新しい学校とはならないと考える。
学校施設	空調		

大項目	中項目	小項目	自由記述
その他	子ども第一		子どもと働き方のどちらが優先されるべきことなのか？
教員	その他	働き方	
教員	負担		
教育環境	教育・学び		子どもたちが安心・安全に教育を受けることができることが第一で、その際に教職員の負担が偏らないことが大切だと感じます。
通学	距離・時間		校舎内に空き教室がいくつかできると、児童への指導がやりやすくなると思います。通学時間が、30分以上かかると、登下校につかれてしまうと思うので、学区の見直しは大切だと思います。
学校施設	その他	空き教室	
学校施設	その他	空き教室	校舎の老朽化や、空き教室のなさが気になる学校が多いです。少しずつ改善されることを願います。
学校施設	改修・建替え		
教員	研修		教職員数を確保し、よりよい授業、教育をしていけるよう様々な研修をさせてもらいたい。
教員	教員数		
地域との関係	その他	部活動の地域移行	学力の低い子どもを伸ばす手立てとして、習熟度別に教科でクラスをわけてできるだけスペースと教員の確保ができること。また、部活動を外部委託し、教員が早く帰れるようになれば仕事と家庭が両立でき、そのゆとりが子どもたちのよりよい教育につながると思います。
教育環境	教育・学び	個別指導	
児童生徒	その他	社会性	学校数を少なくすることで、予算や教員数も1つの学校に多く分配されます。子供に高い教育ができますし、子ども同士で成長し合える環境になると思います。
教員	教員数		
児童生徒	その他	社会性	学校は、安心で安全な場所。いろいろなことが友達と共に学べる場所。そして、楽しい場所であるようにできるとよいと思います。
学校施設	その他	安全安心	
その他	費用関係		学校の設備や人材の確保、子供達の体験学習の充実の為にもっと予算を増やす。英語教育にも、世界の国と同じレベルになるように、抜本的な改革をする必要があると思います。
教育環境	教育・学び	外国語	
その他	検討の進め方		学校ごとの課題点などに対して明確な変化が出てくれると嬉しいです。クロームブックなどの数が足りないところも、子どもたちに学習活動を充実させるために必要です。
教育環境	子どものICT環境		
教育環境	その他	多様	学級数は、1クラスでも5クラスでも、必要な教室や施設があり、必要な教員が配置されれば、工夫次第で効果的な教育はできます。コロナ禍では、小規模だからできた実践もたくさんあると聞いています。各学校の特徴を生かせば、学校規模はあまり問題にならないと思います。学校の統廃合よりも、もっと教育に予算を付けて、教員や支援員を増やしたり、特別教室にもエアコンを設置したりすることに考えてほしいです。
教育環境	その他	質の向上	
通学	距離・時間		過度な統廃合によって、通学距離が延びることや小規模校のきめ細かな指導ができなくなってしまう点には配慮が必要であると感じました。
教員	生徒との関わり方		
地域との関係	学校像		家庭や地域の環境が変わる中、学校として不変なもの、そうでないものを地域とともに共通理解する必要が、今後の教育につながると思う。学校が物理的にも心理的にも居心地の良い場であることを教員としては、一番望む。
教員	働きやすい環境		
教育環境	生徒の個性に合わせた教育		一斉で学習し、集団活動をする学校教育ではあるが、近年児童の特性が変わってきている。特別支援的な配慮を要する児童が増えてきている中で、今までと同じ条件のもとでは指導がしきれない状況がある。一人ひとりの個性が輝き、自分で困難を克服力をつけていく、人とのコミュニケーションを図るうえで、1クラスあたりの児童数を考える必要があると思います。また、支援を要する児童がクラスに1人だけではない現状を知っていただき、教員の配置や支援員さんの増量を切に願います。これからの時代を見据えた教育も必要だが、基本基盤となる人間関係や基礎学力の定着も必要である。子どもたちが楽しいと思える学校づくりを望みます。”
教育環境	その他	特別支援教育	
その他	費用関係		一クラスの人数を30人など、少なくして、細かく目が届くことが、特に小学校では、大切と考えます。子供たちが少なくなった今こそ、一クラスの人数をもっと減らし、未来の投資になる子供たちへの教育に予算をかけるべきだと思います。
教員	生徒との関わり方		
通学	安全性		安全に生活できる空間を求めます。登校時も、在校時もです。
学校施設	その他	安全安心	
教員	生徒との関わり方		また、大規模であると、子供を把握する難しさや、施設の使い方等でやりくりが大変な面もある。
学校施設	その他	ゆとりある利用	
教育環境	地域差のない教育		どの学校でも同じような質の教育を提供できるとよい。施設面でも、校舎の新しい・古いで使いにくさ、不便さがあります。昨年度、福祉教育で、外部から体の不自由な講師をお招きした際に、改めて感じました。
学校施設	バリアフリー		
教育環境	学校規模	人数	できるだけ人数の偏りや、施設の偏りが無いように。
学校施設	その他	偏りなく	
その他	心の教育		タブレット等の活用と並行して、心の教育も大切にしていきたい。
教育環境	子どものICT環境		
教員	負担		タブレットを使用するにあたって、つながらないことも多いため、学校で学べる環境を整えていく必要があると思う。教員の働き方改革もあるため、あまり新しいことをするのはなく、今、実践していることの中から考えていく方がよいと思う。”
教育環境	子どものICT環境		
教育環境	教育・学び	学力	これからの時代に必要な学校は、将来生きていく子供たちのために、第一に基礎学力の定着である。そのため、上尾市ではICTの活用等、先進的な学力向上に努めているが、より充実させるための方策がさらに必要であると考えます。また、統廃合に関することについては、無理をせず、できる地域から少しずつ行うことが大切である。例えば、平方北小を平方東小と大石南小に分けるとか、上平北小を上平小に統合するとか…。無理な統廃合は地域から反発を受けるだけで合理的であるとは思えない。より地域に理解できるように望みます。”
教育環境	統廃合		
教員	教員数		1クラスの人数を25人以下にする。教員数を増やす。副担任等の導入。”
教育環境	学級人数	少人数	

大項目	中項目	小項目	自由記述
通学	距離・時間		・子どもの数が減っている現状、学校の統廃合はやむを得ないとも思われるが、通学距離が伸びる子どもの配慮(スクールバスなど)が必要になると思う。
学校施設	その他	意見聴取	・学校は、一度建てると何十年も同じ校舎を使用するので、将来的なことを見越した設計が必要だと思う。また、設計の際には教職員の意見も取り入れる機会があると良いと思います。
学校施設	バリアフリー		安全でバリアフリーであること
学校施設	その他	安全安心	安心、安全な学校！
学校施設	その他	安全安心	事故のない安全な学校づくりを願います。
学校施設	その他	安全安心	安心・安全が一番だと思います。
学校施設	その他	安全安心	学校に通うこと、学校に在る間の子どもたちの安心・安全をさらに高く意識した学校づくりがこの先必要とされると思います。
学校施設	その他	安全安心	学校では様々な施設が老朽化しており、必ずしも安心・安全な施設とは言えないと思います。これを機に、教育施設への投資を進めてもらいたいと思います。
学校施設	その他	快適に	施設の快適化は必要であると考えます。特別教室の冷暖房設備やお手洗いの清潔さ、体育設備の充実さなど、各学校によって差が大きいため、統合し分配することも必要であると考えます。
学校施設	その他	快適に	子供たち一人一人が快適に学べる空間であってほしいと思います。
学校施設	新しい学校		時代にそぐわない古い学び舎が多く、生徒も先生になりたい人も希望につながらない。
学校施設	新しい学校		子供たちが安全に過ごさせる学校を基本とし、時代に合った施設や設備になるとより魅力的になるのではと思う。
学校施設	その他	昇降機	施設について、人が使えるエレベーターがあると便利だと思う。
学校施設	その他	特別教室	今後、不登校児童支援のための適応指導教室や通級指導教室等を各学校内に整備していくとよいと考えます。
学校施設	その他	幅広い学びの場	子どもたちに幅広い学を提供できるようにする施設が望ましい
学校施設	その他	学びやすい	まずは、施設を整えて、学びやすい環境を整えることを進めていけるとよいと思います。
学校施設	空調		特別教室(理科室)へのクーラー設置を切実にお願いしたいです。生徒の学習環境確保の為に。
学校施設	空調		酷暑が続く中で冷房がなかなか効かない環境で学習することは厳しいので、全教室の冷暖房の環境を整えることが大切だと感じる。
学校施設	空調		今の学校や近隣の学校の話を見ると、エアコンの効が悪い学校が多いと聞いています。常に熱中症にさせないように授業中に水分補給の時間をとるなどしていますが、まずは、子供達が安心・安全に学校に通えるようにすることを第1に考えていただきたいと思ひます。
学校施設	空調		建物そのものだけでなく、空調等の設備も古くなっているものが多いのが現状です。学校の再編により学校数を減らすことが、施設設備の充実につながるのであればありがたいです。子供たちに、安全で快適な学習環境で学ばせたいと思ひます。
学校施設	教室や体育館	放課後利用	子供たちがのびのびと成長することのできる場作り。また、休日にも公園など同様にボールを使ったり、鬼ごっこをしたりなど、好きな遊びを沢山できる場を作りたい。
学校施設	教室や体育館	放課後利用	休みの日に自由にスポーツ、読書ができるようになれば、学習意欲が向上すると思う。
学校施設	教室備品		子どもたちの持ち物が、昔と変わってきている。大きさや量などを考えると、机の広さや、ロッカーの大きさは、ある程度必要と感じる。
教育環境	教育・学び	外国語	外国人と自由に英語で会話ができるチャットスペースがあれば、実践的なコミュニケーションの機会が増え、外国語を学習する本来の目的を生徒自身が考えることができると思ひます。
教育環境	教育・学び	自由に履修	個に応じた要望が強くなってきているため、自由に履修できる方法があるとよいと思ひます。
教育環境	教育・学び		生涯教育の充実(部活動・プール指導・個別の学習サポートの充実等)や専門職の充実の推進
教育環境	教育・学び		子供たちの学びが構築されていく学校づくりがさるて行くことを願ひます。
教育環境	教育・学び		子供たちが落ち着いて学習・生活できる環境作りを最優先にしてほしいです
教育環境	教育・学び		子ども達が笑顔で学習できる学校にしていきたい。
教育環境	学級人数	少人数	新しい学校づくりでは、クラス内の児童数が減らせる(小1~3年30人、小4~6年35人程度である)のであれば学級数が多少増えるのもよいのではないかと思ひます。クラス数の増減のことよりも、学級内の児童数が減った方が目が行き届きやすくなると思ひます。
教育環境	学級人数	少人数	教育の質を上げることが子供たちのための新しい学校づくりになると思ひます。教育の質をあげることは教員の質をあげることに深くかかわっています。教員の質を上げるためにも、是非1クラスあたりの児童数をもっと少なくて欲しいと思ひます。きめ細やかな指導のためにお願ひいたします。
教育環境	学級人数	少人数	1クラスの人数を減らし、きめ細やかな指導が行える環境作りを希望します
教育環境	学級人数	少人数	一学級の人数を減らしてほしい。より一人一人と向き合っていけるため。
教育環境	学級人数	少人数	クラスの人数を30人程度にどの学年もできれば。
教育環境	学級人数	少人数	1クラスの人数が多すぎる。1クラスは30人程度がそれ以下がよい。
教育環境	学級人数	少人数	クラス数と共に1クラスの児童数も少なくなると落ち着いて学習ができ、教員の目も届きやすくなると思ひます。
教育環境	学級人数		クラス数というよりも1クラスの人数が担任として気になるところです。多すぎても見逃しが多くなることがあったり、少なすぎても交流ができなかったりと人数は難しいと思ひます。”
教育環境	学級人数	少人数	1クラス40人学級の状態であると目が行き届かない場合が多いです。教員数を増やし、1クラスは30人前後の学級経営が望ましいと思ひます。
教育環境	学級人数	少人数	クラスの人数を、小学校は20人程度、中学校は30人程度にし、個別指導をしやすくする。
教育環境	学級人数	少人数	昨年度1年生の担任で32名のクラスを受け持っていました。多様な児童がおり、目が行き届かないこともありました。1クラスの人数が少なければ、もっと細やかな指導ができ、子供のためになると思ひました。
教育環境	学級人数	少人数	定員いっぱい、単学級、小規模校というような状態の場合、定員を減らすというような特別措置を行ってほしい。
教育環境	学級人数	少人数	高学年や中学校での各クラスにおける最大人数を減らす。教室のスペースの確保や、児童を個別に指導する時間や機会の確保、教職員の負担軽減するためには必要と考えたため。
教育環境	学級人数	少人数	教員の目が届きやすいように、また、働き方改革を推進するためにも、1学級あたりの人数を30人以下にしてほしい。それが、子供たちのためになると思ひます。
教育環境	学級人数	少人数	一教員個人の意見としてとらえていただければと思ひます。1学級の人数が多いことで、児童一人一人に寄り添った指導が適切に実施できない場合があります。上尾市独自で1学級の人数に制限を設け、個別最適な学びの実現に向けて検討していただけると有り難いです。”
教育環境	学校再編		学校間格差の解消のために学校再編は、これからの時代必要なことであると思ひます。
教育環境	学校再編		新し学校づくりをする上では、子供にとってどの形が良いのかを、いろいろな視点で考える必要があると感じました。一番は、より安全で安心感のある学校であつたらよいと思ひました。
教育環境	学校のICT化		オンラインでの登校を認めると様々な事情で学校に来られない児童も救われる。同様に、教員も必要に応じて、在宅での授業や仕事ができることよい。

大項目	中項目	小項目	自由記述
教育環境	統廃合		少子化に向かい、学校数を減少させることはやむを得ないと考えます。
教育環境	統廃合		少子高齢化により、児童数が減少していることから、まずは学校数をへらして、それで生まれた余剰教員を均等配置して学校に人的なゆとりを持たせること。それにより、児童一人一人にじっくりと向き合うことができると思う。
教育環境	学級人数	少人数	本当に子供たちのことを考えるのなら、現4年生以上も40人一学級を二学級にするような方策がとれるとよいと思います。
教育環境	学校規模	適正化	子供達に魅力ある教育をするためには、適正規模の学校が良いと考える。
教育環境	学校規模	適正化	適切な規模がよいと考えます。
教育環境	子どものICT環境		安心・安全であることを大前提に、今の時代のニーズに合った学習形態や教材教具の充実を図りたい。ICT機器をはじめ、児童のスキルアップに繋がる環境づくりを、偏りなく整備してほしい。
教育環境	子どものICT環境		1人1台端末の実現と、端末を活用することのできる教室環境の整備は、早ければ早いほど未来の子供たちにとって有益だと考えます。
教育環境	子どものICT環境		PCやWi-Fi環境を整え、社会に出て生かせるような指導ができる環境が整うと良いと思います。
教育環境	子どものICT環境		「一人一台端末」の環境を活かしてできることを、どんどんやっていくことが必要と感じています。(この環境はこの先もずっと続くと考えているため)
教育環境	授業		授業で子供を指導できる学校づくりを推進したいです。
教育環境	小中一貫教育		小中一貫のメリット・小学校の先生が卒業後も成長を見届けるチャンスが多い。・中学校の先生が受け持つ子の情報を得やすい。・小中の教員同士が互いの良いところを吸収し合える。”
教育環境	生徒の個性に合わせた教育	人格形成	どちらにもメリットとデメリットがありますが、通学距離などのデメリットより子供たちの人間関係を通した人格の完成などというメリットの方が上回ると考えます。
教育環境	生徒の個性に合わせた教育		個々への細かな対応を最優先に、児童の可能性を広げることのできる学校教育をおこなってきたい。
教育環境	生徒の個性に合わせた教育		子供たちが各方面で、活躍し、才能を開花できるようにしてほしい。大規模は多過ぎて(トツしか選ばれない)、小規模は少な過ぎて(レベルが低くても選ばれている)など、固定化されているのではないかなと思う。
教育環境	生徒の個性に合わせた教育		子供たちの先を見据えた多様で柔軟的な学びができる学校環境を整備をお願い致します。
教育環境	その他	未来	子どもたちの、未来教育を第一に考えたい。
教育環境	その他	質の向上	改善できる部分は改善して、教育環境が少しずつ充実していけると良いと思う
教育環境	その他	質の向上	これまでの概念にとらわれず、子どもたちが、より濃い学びができる工夫が必要であると思う。
教育環境	その他	質の向上	教育の質を高めるための働き方改革を進めるべきだと考えます。今、何でも「今の時代に合っていない」「働き方改革だから」と業務を縮小する傾向にあると思います。しかし、本来の目的である「教育の質を高める」ためではない、業務の縮小が多くあると考えます。このままでは、教員の質が下がり、子供たちの3つの資質・能力を育むことができないのではないかと懸念しています。何が必要で何を縮小するかを改めて考えていく必要があると考えます。教育にお金をかけるべきだと思います。良い人材を確保する。教員の人数を増やす。ことが、子供たちのためになると考えています。”
教育環境	その他	校外学習	子供たち自身に様々な体験活動ができる学校として出前授業や見学等の機会を増やしていただけるとありがたいです。
教育環境	新しい学校		21世紀型教育を目指しているような教育環境づくりを目指したい。また、それらが子供たちのためであるとともに、先生方にとっても良い環境となるよう検討していけるとよいと考える。
教育環境	新しい学校		時代に合った学校を考えていかなければならないと思います。
教育環境	新しい学校		時代に合わせた対応で、必要なことだと感じています。
教育環境	新しい学校		予測困難な時代がある中で、児童が新たなことを学べるようにするためにも、教員自身も添付されていた資料のように子供たちが新しい学校の環境をととのえることが重要であると感じられました。
教育環境	地域差のない教育		市内の小中学校に通う全ての子が、同じように学び、生活できるような環境づくりが大切であると思う。施設・設備の整備や修繕、学校規模の格差解消など積極的に取り組んで欲しい。
教育環境	地域差のない教育		子供たちが安心、安全に、かつ地域に差がなく学校生活を送れるように配慮すべきだと思います。
教育環境	地域差のない教育		公教育なので、新しい学校づくりに於いて、施設設備やクラス数で学校間の教育格差が出ない方がよいと思う。
教育環境	廃校		できかぎり廃校となる学校が出ないよう、考えていただきたいです。
教員	生徒との関わり方		小規模の学校のもきめ細やかに指導できるので、残しておくべきだと思う。
教員	その他	学校間共有	教育格差ができるだけ生まれないように、校内のみでなく、他の学校とも情報共有しながら教育活動を進めていくことが大切だと思う。
教員	その他	教育体制	より良い教育体制を作り、児童への教育活動に専念したい。
教員	その他	交流	上尾市としてある程度統一化し、教職員間で情報共有できる環境が整うと、新しい学校づくりがしやすくなると思う。
教員	その他	職場環境改善	子供たちの目線になって考える必要性はもちろんあるが、学校で働く方々が働きやすい環境をつくることが第一であると思います。教職員などが、心にゆとりをもって働くことで、児童、生徒へよりよい教育を行うことができると考えます。
教員	その他	職場環境改善	子供たちのための新しい学校づくりのためにも教員数の確保や古い施設などの改善など、教員が教育活動を実施しやすい環境を整備していくことも大切だと思います。
教員	その他	職場のICT化	まず、環境の前に、教員の働き方改革を中心に進めていくべきだと思います。ICT化が進められているはずなのに、出席簿や出勤簿は、未だに手書きである現状。通知表と要録のデータがリンクできていない。すぐに手を付けられることがたくさんあると思います。今の現状を見て、教員が働きやすい環境を作ることが大切だと思います。子供たちのことはもちろんですが、教員のことも考えてほしいです。
教員	その他	働き方	教員の働き方改革が進み、勤務時間内に教材研究や評価を付ける時間が確保されれば、教育の質は上がり、子供たちのための学校づくりになると考えます。
教員	その他	働き方	働き方改革をより一層推進していく中で、職員の増員もしながら、ゆとりをもって、教育に力を注げる環境をつくっていく必要があると強く感じる。それが、子供のための新しい学校になると思う。
教員	その他	働き方	働き方改革を進めないため まずは大人の環境を整えるべき
教員	その他	働き方	教材研究等、子供たちの指導のために最も必要であると思われる職務に効果的に時間を使えるよう、形骸化している職務の見直し・廃止がされるとよりよいと考えます。
教員	その他	働き方	教師の働き方改革を進めることで教師にも余裕ができ、それが子供たちに良い影響をもたらすと思います。
教員	その他	働き方	子ども達の新しい学校づくりには、まず学校の教員の根本的な業務改善や待遇改善、環境を改善することで、ゆとりが生まれ、アイデアや充実した教育活動が行えると考えます。数や形だけ整えても、新しい学校づくりにはなっていないかな。”
教員	その他	働きやすさ	学校を支える教員が、安心して余裕を持って働くことができる工夫や改善も同時にすすめてほしい。



大項目	中項目	小項目	自由記述
教員	教員数	質も	子どもたちが安心して生活できる人的な環境づくりが望ましいと考えます。いじめ対応、保護者対応、教科指導、全てにおいて同じ教員が行うのはやはり限界があり、それぞれに専門的な知識や経験をもった人がいると、安心できる学校環境に近づくとと思います。
教員	教員数		各学校で、教職員数を倍にして、きめ細やかな対応をした方が良く考えます。教職員1名に対し児童10名程度
教員	教員数		人員の不足が深刻だと考えます。学級数を基準にするのではなく、教科や学校の実情に合わせた教職員の確保が必要だと思います。現実には仕事が多く、日々自転車操業のようになっています。
教員	教員数		教職員の増員が今最も必要だと考える
教員	教員数		ハード面の充実も必要だが、教員を増やすことが第一！
教員	教員数		指導者を多く、多様な人材を増員することが大切だと考える。
教員	教員数		学校数が減ることで、教員の数がさらに少なくなること懸念がある。
教員	教員数		教員不足により十分な教育が子供たちに行き届かない状況を打破するためにも、新しい学校づくりを進めて、教員の成りでも増えるようにしてもらいたい。
教員	負担		子供たちに最も接する教員の余裕がありません。こんなに忙しいと授業の準備すらおろそかになってしまうことがあります。教員の時間的余裕の確保の点からも新しい学校づくりを考えていただきました。
教員	負担		教員の負担を少なくして授業に集中できるようにしたい
教員	負担		子供の人数が減る中、再編はしょうがないと考える。しかし、それにより、教員の負担増にならないように、人数を増やし対応するなど、協議をしていく必要があると考える。
教員	負担		子供のために何かをやるということは良い。ただし、それを実行する際に人や予算をきちんとつけてほしい。方針だけ示して具体的な手段は現場にすべて丸投げというのはやめてほしい。子供達の教育に専念できるような労働環境を作り上げてほしい。
教員	負担		子供たちのため、と同時に、教職員の負担軽減も考えていただけるとありがたいです。他の施設と併用となった際、学校管理下ではない出来事は、学校外での解決を徹底してほしいです。
教員	負担		先生たちの負担をまずどうにかしてください。「はやく帰りましょう。」というだけでは、働き方改革と言えません。「子どもたちのため」には、先生の健康と笑顔が最も重要であると考えます。
教員	負担		教員の増員が望めないものであるならば負担が軽減できるような再編計画を立てていただけると幸いです。
教員	負担		教員に新たな負担を課すような事はないとよい
教員	負担		教員の負担になることを増やさなければ新たな取り組みをいくら行ってもいいと思います。
教員	負担		児童が安心して楽しく過ごすために教師の負担軽減は大切であると思う。民間企業の介入も大切であると思う。
教員	負担		職員が時間にゆとりを持つ
教員	負担		子供たちだけでなく、我々教職員のことも考えてください。
教員	負担		「子どもたちのため」を考えるのならば、教員の十分な授業の準備の時間や、仕事内容の精選が必要になってくると思います。学校を地域に開放したり、学区が広がることでまた、教員に負荷がかかると子供たちのための時間が十分確保できないと思います。
教員	負担		現場の職員の負担が、ただ増えるだけのような今までのやり方はしないでいただきたいです。新しく始めることに対して、必要のないものや負担が大きいものを無くすか改善することを望みます。「職員が働きやすい環境」＝「子どもたちのため」であることは明白なので、柔軟な対応をお願いします。
教員	負担		子供たちのために、良い環境で良い教育を提供するためには、まず、私たち教員が良い環境で、良い精神状態で子供たちに向き合う必要があると考えます。そのためには、まず教員の負担を軽減して、それぞれの仕事や役割を効果的に行わなければなりません。「働き方改革」と言われますが、何が必要で、必要のないか、必要のないものであれば、削っていく。本当に必要なものだけを残り、必要のない作業を切り捨てていく勇気をもつ、行動にしていけないと、私たち教員は、やることに追われ、余裕のない状態で仕事をしていくこととなります。子供たちにゆとりをもつ、広い心で接するためにも、教員の負担をできるだけ減らしてほしいです。一クラス30人学級が実現すれば、もっと子供たち一人一人に目を向け、個に応じた教育ができると思います。また、統廃合の話も市内で出ていますが、教員の負担軽減にならないのであれば、行う必要はないと考えます。
児童生徒	交友関係		児童数の減少、施設の老朽化など様々な現状・問題点はありますが、子どもたちを第一に考えた計画を立てていただきたいです。上尾市で子どもを育てる親としても、上尾市で働く教員としても、そう思います。
児童生徒	交友関係		統廃合することは大きな決断かと思いますが、やはり様々な友達と触れ合う機会をたくさん作ってあげたほうが良いのでは？と考えます。
児童生徒	交友関係		学区編成を訂正することで、新しい学校に通う子がいる場合、その子のこころのケアを大切にしていきたい。
児童生徒	交友関係		小規模校によって交友関係が狭まることは人間関係を勉強するうえで好ましくないと思う
児童生徒	その他	社会性	今の子供達は友達とのコミュニケーションの取り方、関わり方が苦手とする子が増えているので、学年、男女の関係なく気軽に話したり、遊ぶことのできる環境を作ってほしいです。
児童生徒	その他	社会性	大規模校から単学級の小規模校に今年度異動してきましたが、児童の世界がかなり狭いと感じました。たくさんの人と交流をし、善悪の判断ができる集団ができる規模の学校が必要だと感じます。
地域との関係	学校開放		学校は公共の施設としての機能をもつので、一般に開放される必要があるが、児童・生徒通っている学校を一般に開放した場合、管理運営を学校職員が担う可能性があります。そのような状況は負担増になりますので、開放する場合には、管理・運営を学校関係者と切り離していく必要があると感じます。
地域との関係	交流		保護者、地域の方がゲストティーチャーになったり開かれた学校作り
地域との関係	施設の複合化		いろいろと複合させてしまふより、静かな学習環境を生徒に提供するため、シンプルな環境が一番よいのではないかと思います。
地域との関係	その他	学校像	未来を担う子供たちを、地域みんなで見守り、社会全体で関わり合っていく学校になればと思います。
地域との関係	その他	協働	学校において全てを満たすという考えのもとではなく、家庭、地域が子供の教育に関わりやすくなること、学校の負担が増えることなく子供たちにとって新しい学習や取組が進められること、そのための新しい学校づくりであることを基本の考えとして進めてほしい。
地域との関係	その他	廃校となる学校の有効活用	統廃合を進める場合、特に廃校となる地域に対して、校地・施設を将来どのように地域活性化に役立てていくのかを示すことができれば、地域の納得を得やすくなるかと思えます。
地域との関係	その他	部活動の地域移行	学校再編に先駆けて部活動の地域移行などを通して幅広い人間関係構築を迅速に進めていく必要があると思います。
地域との関係	その他	連携	子供たちのより良い成長のために、学校・地域・家庭の連携が必要
地域との関係	つながり		学校は、歴史が長いほど地域からの愛着も大きいと考える。地域の理解を得ながら、統廃合ができるとよいと考える。
地域との関係	連携		先生と保護者と地域が連携して、児童生徒を助けられるようにみんなで作る学校がいいです。
地域との関係	連携		地域、保護者、学校が子供たちの成長を温かく見守ることができる環境づくりができたらよいと思います。
地域との関係	その他	学校像	自由が減っているから、何でも縮小するのではなく、より丁寧に子どもたちをみられる環境の整備や地域の方が学校を普段から自由に利用できるなど・・・本当の意味でのコミュニティスクールになる必要があると思います。また、授業時数や例年通りの日課表についても大きく変えていく必要があると思います。1人1台予算をかけて導入したのに、活用しきれていない現状やまだまだ一斉指導でとどまっている現状を変えていく必要があると思います。子どもたちも先生も保護者も地域もみんなが「学校って面白い！楽しい」場所であると思えるような環境や空間になれるように・・・していきたいです。
通学	距離・時間		学校が統合されることで、遠くからの通学することが困難な児童が多くなる。
通学	距離・時間		まずは子どもたちを第一に。遠すぎる場所はいろいろとデメリット多いと思います。しかし、少子化で避けられないところだということも理解できます。
通学	距離・時間		通学距離などを十分に考慮し、児童・生徒への負担が増すことがないように計画・検討をしていただきたいです。

大項目	中項目	小項目	自由記述
通学	距離・時間		通学距離があまりにも遠すぎるのは大変なので、それらが解消できるのであれば、統廃合もよいと思うが、歩いて通学が難しい距離に登校するのは、厳しいと思う。
通学	方法		通学方法を徒歩以外の手段でもできるようにする。
その他	学校の存在意義		学業、スポーツともに学校以外に期待を寄せる家庭が増えている印象を受け、学校の教育活動に対して非協力的な家庭がいるように感じている。今一度、魅力ある学校づくりをしていくことが必要だと思う。(学校でしかできないこと、身につかないこと、学校へ行きたいと思う子どもたちの育成など)
その他	検討の進め方	意見聴取	子どもや保護者、地域、教職員など幅広い意見を聞く必要を感じます。
その他	検討の進め方	意見聴取	地域の方々や子供たちの意見・考えもきちんと受け止めた上で進めることが必要と思う。
その他	検討の進め方	大人の意識改革	子供たちのために新しい学校づくりを構築するためには、地域、保護者、学校の意識改革が必要であり、そのことが大きな課題であると思う。
その他	検討の進め方	教員の意見	現教員の話や意見をよく聞いた方がよいと思います。
その他	検討の進め方	現場の意見	慎重な審議を重ねて学校現場の声をよく聞いてほしい。
その他	検討の進め方	子供の意見	子どもたちに、新しい学校づくりについて、現在の困りごとや、こうなってほしいと思うことを聞くことよいかもしいと思います。
その他	検討の進め方	子供の意見	このアンケートのように、児童生徒も意見を述べられる機会を設けることを求めます。
その他	検討の進め方	子供の意見	子どもからの意見も聞く場が設けられるとよいと思います。
その他	検討の進め方	取捨選択	新しいことを始めるならば、何かをやめなければできない。
その他	検討の進め方	説明	再編ありきで進めることには違和感があるので丁寧な地域、保護者への説明が必要かと思えます。
その他	検討の進め方	説明	子どもたちや保護者、地域の人の理解と協力を得られるように、丁寧に説明していくことが必要かと思えます。
その他	検討の進め方	説明	子供、保護者、学校、地域が納得した学校づくりが必要かと思う。
その他	検討の進め方	説明	再編するつもりですね。十分な根拠説明が必要ですね。
その他	検討の進め方		総論賛成各論反対とならないよう、子供たちのための教育の質の保障を大前提に議論してほしいと願っています。
その他	検討の進め方		今回 計画を見直していただきよかったですと感じています。必要な学校とはなんなのか、先生方や地域の方、子どもたちと話し合っ、よい学校をつくっていただきたいです。どこかの企業に 委託して 解決できる問題ではありません。 時間と手間はかかるかもしれませんが、市民でつくる新しい学校をお願いしたいです。 未来のこどものために 真摯に今後も考えていってほしいです。
その他	検討の進め方		様々な立場の方の意見を聞きながら、現状を変えていく必要性を感じています。
その他	検討の進め方		段階的に行っていく必要があると感じました。
その他	検討の進め方		教育活動の充実を図ることは大変すばらしいことだが、地域差や学校規模を考慮し、実現可能な範囲で計画を立てる必要性があると思います。
その他	検討の進め方		変化が必要なことと不必要なことはたくさんの方が議論し、決定していくのがいいと思います。
その他	検討の進め方		段階的に進めたり、モデル事業を通して計画的におこなう必要があると思います。
その他	検討の進め方		今学校で学んでいる児童、生徒の負担とならないように、計画的に事業を進めていただければと思います。
その他	検討の進め方		統合等、計画的に動くことで、児童生徒に負担なく学校生活を送ってほしい。
その他	検討の進め方		様々な意見があることは容易に想像できますが、行政が10年後、20年語を見据えて責任おw持つて本事業を断行することを希望します。
その他	検討の進め方		大人がゆとりや遊び心を忘れ、点数化される部分や形だけの事務処理を行っている以上、子供の可能性や個性を伸ばそうとすることは難しいと思う。
その他	検討の進め方		このアンケートをどのように活用するのか、結果などを知りたいです。子ども達はもちろんのこと、教員も混乱しないように慎重に検討していただきたいです。
その他	検討の進め方		前回のような唐突な学校再編案の提示は二度とないように、慎重に進めてもらいたい。再編ありきでなく、教員の増員や学校施設の改善(特別教室の空調設置など)に予算をつけて、より良い学校、職場環境づくりをすすめていくようにしてほしい。”
その他	検討の進め方		早急に再編するのではなく、じっくり検討していく必要がある。
その他	検討の進め方		以前に提示された「学校統廃合案」が出されるよりも前に、このような調査を行ってほしかった。地域住民の声は拾っていただけているのか、そこが疑問です。もう数年先の学級数は想定できているのが現状なのでしょうから、決断は早く、大胆にやっていただきたいと思えます。
その他	検討の進め方		これからの社会を生きる子供たちを育てるための教育の充実や保護者、地域の願いと財政的な問題との両立は大変難しいと思えます。また様々な意見がある中、何が正解かと言われるとよく分かりません。迅速さも求められるかもしれませんが、十分な検討や議論が必要かと思えます。何十年先の見通しを持ち、上尾の子供たちにとって何が一番大切かを考えて進めていけると良いと思えます。
その他	検討の進め方		どこかに負担や我慢が偏るのではなく、児童、保護者、地域の方々、そして教職員にとって、活動しやすい環境づくりの観点が重要かと思う。
その他	検討の進め方		理解した上での共通認識が必要
その他	子ども	対応力	時代に適して、子供達の対応力と、未来へと変わって行く必要が、あると思います。
その他	子ども主体		あれも、これもではなく、子供たちにとって本当に必要なことを見極めて、丁寧に行っていくといいと思えます。
その他	子ども主体		あくまで“子ども主体”であるべきだと考えます。
その他	子ども第一		施設設備環境保持の金銭的な課題がクローズアップされている。子どもの教育環境を大切にすることでの議論が十分になされることに期待します
その他	子ども第一		子供たちがよい環境にかわれることが優先されると考えます。
その他	子ども第一		子どもたちのことを優先に考えて新しい学校づくりが行われるといいです。

大項目	中項目	小項目	自由記述
その他	子ども第一		児童の教育環境を最優先に考えた配慮をお願いしたい。
その他	子ども第一		子どもたちのことを考えて学校づくりを行うべき。大人の都合ではなく子どもたちのためになることに尽力するのが大切である。そのために、児童・生徒の意見や児童・生徒に将来的に役立ったり、力がついたりする学校づくりを考えるべき。
その他	子ども第一		子供たちのことを一番に考えると、何が最適であるかよく考え、協議する必要があると感じました。
その他	子ども第一		子供達が子供らしく、のびのびとしながら学べる環境が必要かと思ます
その他	子どもたちのため		学区の広さや、その地区に住んでいる人数などで難しいことはあると思いますが、子供たちのためであることが第一なので、子供たちの安全や負担を考慮して進めていただければと思います。
その他	多角的なケア		児童間、保護者間のコミュニケーション不足によるトラブルを防ぐ手立てが必要。新しい集団や環境に適応できない児童が増えてきているので、迎え入れる学校側でも十分な研修や情報交換も必要だと思す。
その他	多角的なケア		省庁(文科省・総務省・財務省等)が垣根を越え、本格的な教育改革に着手していかないと、日本教育の衰退を招く。教育の未来に現在、道標がない状況であるのと同じと捉えています。
その他	多角的なケア		子供たちに集団生活の中で学びを得るのが学校の大切な機能だと思いますが、同時に個別対応が必要な生徒が自分が子供のころに比べて大変増えている印象を受けます。ですので、そういった対応が必要な生徒に対して、十分なケアを本人・その家族に行うための仕組みが、今後の学校に必要なだと思います。それには、教員だけでなく、様々な領域の専門家(医療、ソーシャルケア、法律など)が学校教育に関わる仕組みが必要と考えます。
その他	費用関係		教育は国づくりの原点という点から、十分な予算確保を議会をお願いしたい。
その他	費用関係		例:行事の充実度 部活動の種類 宿泊学習や卒業アルバムの一人当たりの費用が割高になる……など。”
その他	費用関係		新しい学校づくり、時代とともに学校も変化していかなきやならないし、少子化と言われどんどん減っていく子供の人口、学校を再構築するのであれば、無駄な税金と言われぬように、すすめていく必要があると感じた。
その他			アンケート内容が、被っているのはどうにかならないか。別のアンケートでも答え二度手間である。精査していただきたい。そのような業務改善が余裕のある教員を作り、子供たちにも還元されると思す。
その他			是非、推進していただきたい。
その他			魅力的な施策であることを期待しております。
その他			困難なことだとは思いますが、ぜひ進めてほしいと考えます。
その他			いつもありがとうございます
その他			保護者や地域の方と調整が大変だと思いますが、子供たちのためによりしくお願いします。
その他			色々考えていただきありがとうございます。
その他			特になし
その他			特にありません。